

日本トイレ大賞 受賞案件一覧

有村 女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)賞

下村 文部科学大臣賞

太田 国土交通大臣賞

望月 環境大臣賞

山谷 内閣府特命担当大臣(防災)賞

石破 内閣府特命担当大臣賞

有村 女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
1	株式会社東急百貨店	渋谷ヒカリエ ShinQs(シンクス)	東京都渋谷区	<ul style="list-style-type: none"> ●売場デザインと連動を図り、買物を楽しむお客様のワクワク・ドキドキ感をトイレという別空間で途切れさせないため売場環境の延長としてデザイン ●音楽療法を取り入れた3DオリジナルBGMや各階ごとのアロマの香りの提供など、デザインを目で楽しみ、オリジナルBGMを耳で聴き、安らぐ香りを鼻で嗅ぐことで、視覚・聴覚・嗅覚を刺激し、ハード面の心地よさに加えソフト面の心地よさも提供 	  
2	ベクセス株式会社	多目的トイレカー	東京都八王子市(保管場所)	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外公共イベントに推奨されるオストメイト対応設備を備えた、皆にやさしい移動式トイレ。 ●シャワー・水栓・レバー式自在水栓を備えた汚物流し設置。 ●上部には荷物が置けるカウンターあり。 ●足踏み開閉式ダストボックスも設置。ウォシュレット・エアコンに加え、手洗い器には鏡を設置。おむつ交換台、ベビーチェアの機能を備える。オストメイトの方だけでなく、お子様連れの方やそれ以外の不特定多数の方にも快適な屋外トイレを実現。 	   
3	積水ハウス株式会社 TOTO株式会社	おりひめトイレ	全国	<ul style="list-style-type: none"> ●「おりひめトイレ」は、従来の仮設トイレに不満を持つ女性や子供への配慮を念頭に開発。仮設トイレの5K「汚い」「臭い」「怖い」「暗い」「壊れている」と女性特有の不満「使いにくい」「音もれへの不安」「気持ちが萎える」の合計8つの不満を改善するために快適性と安全・安心を追求。 ●女性従業員のほかに仙台市内の女性デザイナーも開発メンバーに加えて女性視点から仕様面の作りこみを行ない、ウォシュレット付きの洋式トイレをはじめ、荷物配慮、子供配慮など女性ならではの小さな心配りを取り入れた。スペースにおいてはこれまでの狭かった仮設トイレに対して、専用施設で空間検証を重ねて必要十分で使い勝手のいい広さを導出。デザイン面では女性らしい優しい曲面の外観と清潔で美しい内装デザインを採用し、女性だけでなく、大人から子供まで、思わず使いたくなるトイレ空間とした。 ●これまでの仮設トイレのイメージを覆す、まったく新しい仮設トイレ。それが「おりひめトイレ」。 	    

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
4	渋谷区土木清掃部	公衆トイレネーミングライツ事業	東京都渋谷区	<ul style="list-style-type: none"> ●2020東京オリンピック・パラリンピックが決定、国内外より東京、特に渋谷に注目が集中することが予測される。日本に来る外国人観光客は、スクランブル交差点や明治神宮、代々木公園、原宿、恵比寿という渋谷区内への訪問が多いこともあり、日本のトイレをアピールするうえで渋谷トイレは不可欠であると考える。 ●代々木公園に近接する区役所前トイレ診断士の廁堂は公園でのイベント時にはトイレとしての機能のほかランドマークとしても活用。シブミックトイレは、カルミック製品をトイレ内でショールームのように使用しアピール。また、恵比寿カンセイトイレでは、地域の恵比寿マークを壁面に貼り、この取り組みを通じ、地域の街づくりとの連携を図ることにより街の活性化にも寄与している。 ●神宮前1丁目スシニンジヤトイレは、以前、渋谷のトイレが世界一汚いトイレとの観光客から手紙を頂いたことがあり、ピリトイレからの世界一を目指している。 ●更に、これを契機として誰もが快適に利用できるトイレにすることから地域が活性化し、「ロンドン・パリ・ニューヨーク・渋谷区」と言われるような国際的な観光都市としてのまちづくりを目指す。 	
5	公益財団法人札幌市芸術文化財団	札幌コンサートホール	北海道札幌市	<ul style="list-style-type: none"> ●当施設は、札幌交響楽団等の演奏会などにより活発化している音楽芸術分野の一層の振興を図るため、札幌市が計画・建設した音楽専用ホール。古くから札幌市民のオアシスである中島公園の中に平成9年7月4日にオープン。大ホール(2008席)、小ホール(453席)及び大リハーサル室、小リハーサル室A・Bを有し、ホールの音響特性は世界的に高い評価を受けており、年間約97%の稼働率を誇っている。 ●施設のアメニティーとしては、演奏者にとっても使いやすい広い楽屋ゾーン、演奏前のひとときをお客様に過ごしていただくホワイエ(ロビー)は広い空間を確保。また、女性用トイレが休憩中も行列になることが多いことから、大ホールの女性用トイレは、3箇所・計60室(身障者用2室含む)、小ホールは1箇所・16室(身障者1室含む)と空調調和衛生工学会の器具算定方式からもレベル1のゆとりある設置数である。なお、このたび、女性用トイレ個室扉に番号表示を設け、空き状況がわかり易く、より利用しやすくなっている。 ●コンサートホールという環境は、演奏中の入退室は厳しく制限される為、トイレの利用を希望する方全員が、休憩時間内(平均20分=1,200秒)にて利用することが望ましい。女性入場客の約6割が休憩時間にトイレを利用すると仮定すると、当ホールは、一人当たり120秒の占有時間が許容される環境を提供している。 	

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
6	株式会社LIXIL	NEXT DOOR Project	ケニア	<ul style="list-style-type: none"> ● LIXILが衛生環境を改善している国・地域の女の子への生理用品と生理教育の提供。 ● 発展途上国では女子児童だけでなく、親の世代から十分な正しい生理教育がされておらず、生理は汚く・臭いものと考えられている。生理に対する差別や偏見、使用済み生理用品やゴミの再利用による病気、生理用品の提供と引き換えに性行為を求められてHIVに感染するといった問題あり。 ● 途上国では生理による問題があることを従業員に知ってもらうことから始まり、自分たちに何ができるか、何をしたいかということ話し合うワークショップなどを行い、生理用品(布ナプキン、ショーツ、水筒、生理に関する冊子等)が入ったガールズバッグ(1つ25ドル)を現地に届けるための募金活動を実施。 ● インフラが整っていないケニアでは、使い捨ての生理用品を使用すると処理に困るため、繰り返し使用できるタイプの生理用品(3年間使用可能)を採用し、女の子に提供。 ● 現地NPOであるHuru Internationalと連携し、生理用品だけでなく、生理教育も併せて実施。 ● 世の中で「生理」はまだタブーとされている部分があるため、女性ではないと生理問題は問題視することが難しく、女性だからこそ声をあげることができるという強みを活かして行動を起こした。 ● 女性がいきいきと活動を行うことで、徐々にこの活動が知れ渡り、更には賛同してくれる男性従業員が増え、「女性だけの問題ではない」ということで、男女関係なく、一体となって活動を実施。 ● ケニア現地においても、女子児童だけでなく、男子児童と一緒に生理教育に参加してもらい、生理に対する間違った知識や偏見をもたないような教育を実施。 ● ガールズバッグ一つをきっかけに、女子児童が自信を取り戻すと同時に、女性であることに誇りをもてるようになってきている。 	
		途上国のトイレを改善するプロジェクト	ケニア等	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動目的: 劣悪な衛生環境での生活を強いられている25億人の人々を半減させるという国連ミレニアム目標を強力にサポートするため、世界各国で多様なプロジェクトを実施 ● 活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ケニア共和国ナイロビ市ムクルスラムは公衆衛生インフラが皆無の地域で、屋外排泄か、夜間はビニール袋で用を足し、ビニール袋ごと屋外へ捨てるといった状況。 (1) LIXIL独自技術を用いたケニアトイレ改善プロジェクト: 「スラム地区の学校」と「都市周辺エリアの住宅」向けに2つのプロジェクトを実施 ・「都市周辺エリアの住宅向けトイレ環境の改善」については、JICAの第1回民間技術普及促進事業に採択されている。 ・両プロジェクト共に、下水インフラが整備されていない中で、LIXILが開発した無水循環技術を活用する事で、実用的で持続可能なトイレ環境を整備でき、人々の生活向上につなげる。 (2) 独自開発したSaTo-panを用いたトイレ改善プロジェクト: LIXIL傘下のグループ会社が独自に開発した、途上国向けSaTo (Safe Toilet)パンをバングラデシュ・ウガンダ・ハイチ・マラウイ・フィリピンに寄贈し途上国の衛生環境の改善に大きく貢献 (3) 学校の衛生状況改善プロジェクト: 世界各国(ケニア・中国・フィリピン・ベトナム・インド)の学校トイレを改善し、子供達に清潔で安全なトイレ環境や衛生教育を提供 ● 効果 <ul style="list-style-type: none"> ・小さな工夫で女性の生活に大きな変化。トイレ設置と同時に鏡を設置したところ、女性が身だしなみを整える明るいコミュニケーションの場となり、女性の生活に大きな変化が生じた。排泄に関わる空間に女性が集まることは、現地の人には信じがたい事。 	

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
7	公益社団法人 日本国際民間協 力会	エコサントイレの 建設による農村 の自立的発展支 援	マラウイ共和国 ケニア共和国	<p>●活動目的: マラウイ及びケニアの農村地域における環境、衛生、収入、女性の地位向上といった課題に包括的に取り組む本活動により、農村地域の社会的・経済的な自立・発展を目指す。</p> <p>●活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラウイ及びケニアには、(1)土壌が痩せている、(2)持続的で衛生的なし尿処理施設がない、(3)低い生産性や健康状態の悪さによる労働機会の損失による貧困、といった共通した問題が存在。 ・そこで、し尿分離型環境衛生式トイレ(エコロジカル・サンテーション・トイレ(以下、エコサントイレ))を建設するとともに、衛生環境改善意識の向上を促進する活動を実施。さらに、このエコサントイレから入手できる衛生化されたし尿を堆肥として使用することを普及し、農地の土壌を改善し、生産性の向上を進め、農家の収入向上にも貢献。 ・日本人建築家が、村でエコサントイルダーを育成し、村で手に入る材料で作るので、自分たちの手で自分たちのトイレを作ることができる。 ・マラウイではこのエコサントイレが広く受け入れられ、7年間で1,000基を超えるエコサントイレを建設。 	 
8	諫早市立森山東 小学校PTA	「すずめのおや ど」清掃維持管 理活動	長崎県諫早市	<p>①トイレ設計までのPTA・地域・学校の参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路にトイレを設置する際に、保護者の不安(リスク5K)と日々登校している我が子が登下校中に抱く不安の解消という相反した課題を解決するために、設計士を交えた協議を、地区の公民館で数回に渡って重ねる。 <p>②設置後の「造るのは簡単、造った後が肝心」を具現化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計士のこれまでの実践に学び、安全管理・保安全管理について保護者・地域・学校・行政が一体となって共有することで、十数年にわたる親子でのトイレ清掃活動となって継続している。 	  

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
9	コマツ「女性の建設現場への進出支援ワーキングチーム」	女性用仮設トイレの普及活動	全国	<ul style="list-style-type: none"> ●建設現場で活躍する女性の悩み、そのトップはトイレの問題。 ●安全、清潔なトイレ、現場で活躍される女性の快適な職場環境の実現において必要不可欠。現場でのニーズが増加する一方で、まだまだ男性の比率が多い建設現場では、女性視点で作られた汎用仮設トイレはなかった。 ●コマツが、ご紹介する女性用トイレは、安全、清潔さはもちろん、現場で活躍される女性の意見を取り入れ、トイレとはわかりにくい外見を始めとし、ご利用いただく女性への安心感、快適性を重視し、着替えなども出来る、シンプルかつ機能的な空間として、女性用トイレを製作。 ●幅広い現場で、利用いただくために、設置スペースと快適性の共存ができる設計。 ●ありそうでなかった、建設現場で働く女性のための女性視点のトイレ。建設現場でご活躍される女性、これから建設現場への進出を考えている女性を支援する為に、安全、安心、清潔、快適な女性用トイレを是非活用いただきたい。 	<p style="text-align: center;">女性用トイレユニット（都市型）</p>  <p style="text-align: center;">女性用トイレユニット（簡易型）</p>
10	株式会社エストコーポレーション	ベビ★マ	全国	<ol style="list-style-type: none"> ① 会員登録不要でスマートフォンからアプリをダウンロードした直後に施設検索と施設の投稿ができる ② 登録施設は日本全国に分布されている ③ 実際のママ・パパさんによる投稿で、助け合いがアプリの中で生まれている。投稿は日平均20～50件ほど ④ 一世代で終わりではなく、次の世代へ引き継がれていくアプリ。 ⑤ 第8回キッズデザイン賞 奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）受賞アプリ http://www.kidsdesignaward.jp/2014/news/pdf/n20140804.pdf ⑥ 内閣府「暮らしの質」向上検討会第1分科会（第3回）にてヒアリング。（インターリンク（株）名義） http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kurashinoshitsu/bunkakai1/dai3/index.html 	
11	王子ネピア株式会社	nepiaうんち教室	首都圏	<ul style="list-style-type: none"> ●「食育」の取組・教材は豊富であるが、「食事」と連動しているはずの「排泄」については、極めて少ない。子どもたちの健康を守る上で「排泄教育」はかかせない問題である。 ●トイレトペーパーを扱う企業として、排泄まわりの課題を解決したいという想いから、2007年よりNPO法人トイレ研究所とともに「nepiaうんち教室」を実施している。子どもたちに「楽しく正しく」学んでもらうことを意識し、興味を持って実践してもらえるプログラムとなっている。 ●これまで参加した子どもは17,200人以上に上り、子どもたちからは、「嫌いな野菜が食べられるようになった」「学校のトイレに行けるようになった」「先生・保護者からは「トイレやトイレトペーパーを大切に使うようになった」「親子で健康についての会話ができるようになった」など、うれしい声をたくさんいただいている。 	

下村 文部科学大臣賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
12	北海道釧路市教育委員会	釧路市立 共栄小学校 鳥取小学校 昭和小学校	北海道釧路市	<p>①清掃の容易性 学校施設では上履きでの生活になりますので、ビニル系の床材に更新し、乾式清掃とした。また、改修後は白を基調とした清潔感のある明るい印象とし、床から高さ約1.8mはコーティングされた壁材を使用することで、汚れが容易に清掃できるよう配慮した。</p> <p>②ユニバーサルデザイン 段差解消するとともに洋便器化を行い、自宅に近い環境へと配慮した。ただし、他人の使用した便座を使うことに抵抗のある児童も考えられるため、学校側とも十分に協議し、各階に男女各1か所は和便器化を行うなどの個別対応も実施した。さらに、男子小便器に1か所、男女の洋便器に各1か所、手すりを設置した。</p> <p>災害時には避難場所になることを想定し、校舎1階には多目的トイレ(オストメイト対応)を新設した。容易にトイレが判別できるよう、入口に大きなサインを設置した。デザインや色彩については学校側のリクエストも取り入れ、愛着のあるトイレ作りに配慮しました。</p> <p>③開放的な空間づくり 各トイレの入口は、ドア等で閉鎖することのないよう、目隠し壁を設けセミオープンな空間へと配慮しました。</p> <p>④きれいなトイレの持続性 男子小便器の床には汚垂石を設置し、一般床と小便器使用時の踏込位置が容易に判断できるよう配慮した。また、飛散防止を目的に小便器には的シールを設置した。中～高学年用のトイレには設置高さに配慮した壁付手洗い器を設置し、低学年用のトイレには、手洗水による床への飛散防止から、カウンタータイプの手洗を設置した。</p>	<p style="text-align: center;">共栄小学校</p>    
13	学校法人 森友学園	新清和台幼稚園	兵庫県川西市	<p>子どもたちが「いきたくなるトイレ」を作る事が大きなテーマでした。</p> <p>そして、完成したのが「陽だまりの森」！！</p> <p>トイレにきちんと名前があるんです。</p> <p>「陽だまりの森」に入った瞬間から、ネコ・ゾウ・キリンが子どもたちをお出迎えに来ます。</p> <p>そして上を見上げるとニコニコほほえむ雲さん！</p> <p>トイレに入った子どもはニコニコ笑顔で出てきます。</p> <p>しかし誤算だった事もありました。それは・・・用を足してきたのに用を足す事を忘れてしまうおともたち。</p> <p>小便をしながら動物たちに見とれる子どもたち。</p> <p>トイレからなかなか帰ってこない子どもたち。</p> <p>木の回りでおいかけっこをする子どもたち。</p> <p>そんな姿を見ると誤算以上の正解だったと思えるのです。</p>	     





	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
14	近江八幡市教育委員会	桐原東小学校	滋賀県近江八幡市	<p>●小学校では、大学院生の協力を得て設計・施工の2か年にわたるワークショップを開催した。これは、児童たちの意見をより多く取り入れ、また児童自らがトイレの一部の施工に関わることによってトイレに対する愛着がわき、大事にしないといけないという気持ちが芽生えたら、トイレを美しく保ち、いたずらや破損がなくなることに期待したものである。大学院生たちは、児童の体調管理や教育環境の向上を図るため、児童が使いやすい、また行きやすい環境を作ることが目標とし、企画立案、実施のすべてを行った。1年目のワークショップではまず、児童たちに覚えてもらいやすいようにチームごと色違いのカーディガンを着て、さらには仲良くなるために給食を共にするなど、児童たちが意見を言いやすい環境づくりに努めた。</p> <p>●その後、児童たちが求めているトイレ像をワークショップによって聞き取る一方、企画したトイレのプランの実用性を検証するため、ダンボールで原寸大のトイレの模型をつくり一緒に中に入って直接意見を聞くなどして、再度プランに反映させた。</p> <p>●2年目は、トイレの環境を保全するためには掃除が大事であること、「湿式」から「乾式」に変わることにに対するメンテナンス方法の説明など、クイズ形式で児童に伝え、また「おそうじマニュアル」(資料)を自作して配った。</p> <p>●さらに、児童の施工体験では、記憶と記念に残るものとして6か所のトイレに関連するキーワードをイラスト化してモザイクタイルの割付け図を作成し、児童全員とモザイクタイルを枠にはめ込む作業を実施した。このモザイクタイルの壁画は、児童、学生の共同作業の証しとして各トイレ前に貼り付けられた。</p> <p>●これら児童、学生参画型のトイレ改修は、その後の小学校の改修工事にも採用され、現在、2校目の工事、3校目のプラン作成に着手している。</p>	

太田 国土交通大臣賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
15	成田国際空港	GALLERY TOTO (成田国際空港第2旅客ターミナルビル“NARITA SKY LOUNGE 和”内)	千葉県成田市	<ul style="list-style-type: none"> ●本トイレは、成田空港の出国ゲートの外に設けられたもの。 ●日本のトイレ文化・技術力を世界に発信。 ●デザインは、建築家であるクライン ダイサム アーキテクト(KDa)が行い、映像パネルを採用するなど上質なアート空間。 ●内装の異なる男女4ヶ所ずつのブース、多機能トイレ、授乳室で構成されており、各ブース内に大便器(男性は大便器及び小便器)、洗面台、ベビーチェアが設置。 ●トイレ外周は3方がガラスで覆われており、トイレブースの壁面に設置された国内初採用のLEDパネル、フィリップス社「ルミナス テキスタイル(Luminous textile)」には、トイレライフ、水、旅、空港などをテーマにしたダイナミックな映像。 ●便器は、「節水機能」のほか、汚れを防ぎ、キレイを保つ「きれい除菌水」などの「清潔機能」が特徴。 ●1日に4回行われる日常清掃に加えて、専従の清掃スタッフが巡回清掃。 	   
16	大阪市交通局鉄道事業本部建築部	大阪市営地下鉄御堂筋線 新大阪駅トイレ	大阪府大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレの3Kを改善することは当然であり、さらなる高みを目指し、チャーミング(魅力的な)なトイレを目指した。 ●魅力的なトイレとは利用したお客さまが満足し、利用してよかったと思える施設であり、それを実感していただくため、相手の立場に立って、相手を思いやる気持ち「ホスピタリティ(おもてなしの心)」を表現することとした。 ●地下鉄駅の112駅を4カ年で設計・工事するに当たり、温もりを感じる各駅共通デザインへの模様替えを基本とする中、選択と集中を考え、使用率の高いターミナル駅では「リノベーション」と位置付けをした。リノベーションは他とは違い、周辺環境を反映した特徴あるデザインとし、空間を拡幅しレイアウトを一新する大規模改造であり、当施設はコレにあたる。 ●外国の人々に、母国に帰って話題にいただける日本のトイレを目指し整備した。 	   <p data-bbox="1798 643 1977 691">男子トイレ内 おむつ替えスペース</p> 

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
17	東京国際空港ターミナル株式会社	東京国際空港(羽田)国際線旅客ターミナルビル	東京都大田区	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインの考えに基づき、様々な人に利用しやすいトイレを目指している。 ●障がい者団体の利用も想定し、車椅子のすれ違いができるほど、通路幅に余裕を持たせているほか、ゴミ箱以外の什器は床上に設置せず、安全な設計となっている。 ●また、弱視の方にも配慮し、見やすいコントラストとなるようにデザイン。トイレの扉の表裏で色を変え、使用状況が遠くからでも目視できるように工夫。 ●補助犬の洗い場も設け、シャワーと台を設置。 ●その他、トイレの清掃・維持管理、災害時の対応等もきめ細かく配慮。 	
18	新潟県見附市	道の駅 パティオにいがた	新潟県見附市	<p>【トイレを中心とした建物づくり】</p> <p>①「道の駅」のトイレは、24時間使用できることが設置の条件で、最も重要な機能。そのためトイレ位置は、入口に近い場所であつ建物の中心に設置し、他の施設をその周辺に配置。</p> <p>② 快適なトイレスペースの確保を最優先とし、十分な床面積を割り当てた。建物の総床面積1399㎡の内、トイレエリアに配分された面積は188㎡、全体の約13%に相当。</p> <p>③ 道の駅は、ドライブで疲れた体と心を癒やす場所。トイレを「地域のおもてなし」として位置付け、様々な施設整備を実施。</p> <p>【トイレにも及び一貫した開放空間の創造】</p> <p>・当道の駅は、市街地にありながら360度のロケーションが広がる。また、広大な芝生広場(総面積約1.4ha)を有し、ここではデイキャンプを楽しむ人たちが風揚げ等のレクリエーション、各種の市民イベント等が繰り広げられている。この「開放空間」が利用者の「憩い」や「交流」の場を生み出し、当道の駅の大きな魅力。建物内においても、交流センターや外側に設けられたウッドデッキは、広いスペースを有し、「交流センター」→「ウッドデッキ」→「芝生広場」へと、訪れる人をより大きな開放空間へと導く。</p> <p>・この「開放空間」づくりは、トイレ創りにも及んでいる。女子トイレは、アイランド形式の手洗い、専用のパウダーコーナーをゆったりと配置し、大きなガラス戸の先には、小さな庭を設けた。また、壁材は県産材の「越後杉」を多用。たくさんの自然光、坪庭の景観、優しい木の温もりが、開放的でいつまでも居たくなるような心地よい空間を創り出している。</p>	




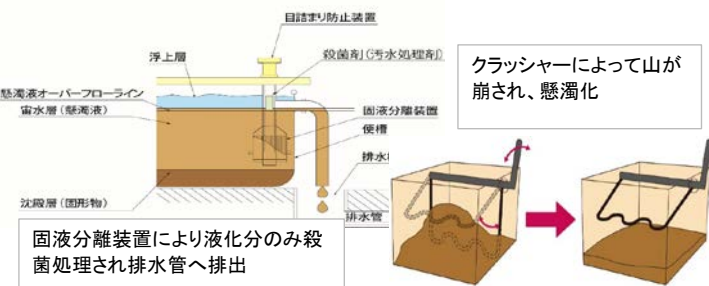
	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
19	中日本高速道路株式会社東京支社	新東名高速道路NEOPASA清水	静岡県静岡市	<p>●基本コンセプト</p> <p>・休憩施設に設置されるトイレは、一般の公共トイレとは異なり、お客さまは一旦高速道路に入ると、目的地周辺のインターチェンジが出るまで、休憩施設を利用するほかに排泄の手段はない。つまり、お客さまにとっては、長時間移動の疲労やストレスを解消する場所としての役割を担っており、閉鎖された高速道路の走行のなかで、心身にわたりオアシス的な空間を提供することが求められていた。</p> <p>・このような背景を踏まえ、NEXCO中日本では、上記役割を有する機能として、下記に掲げるコンセプトの施設を整備することにより、「より快適」「より便利」「より楽しい」、「より美しい」休憩施設空間の提供が実現するとした。</p> <p>●最適便器数の算出</p> <p>・高速道路に設置されるトイレの便器数は、NEXCO中日本の設計基準に規定されているが、新東名高速道路と類似する路線特性を有する東名高速道路の休憩施設では、週末及び繁忙期における待ち行列の発生が慢性化していた。</p> <p>・このため、NEXCO中日本では、東名高速道路におけるトイレの利用実態調査の結果等から、お客さまの諸特性を整理し、お客さまの到着確率をポワソン確率で表現するとともに、トイレの待ち行列発生過程をモンテカルロ・シミュレーションにより予測することで、所与のサービス水準を満足するための最適便器数を決定する方法論を開発し、NEOPASA清水をはじめとする新東名・東名高速道路の最適便器数の算出に適用。</p>	   
20	群馬県草津町	草津温泉 湯路(とうじ)広場	群馬県草津町	<p>●草津温泉の中心である湯畑広場の公衆トイレであるため、浴衣姿で下駄の音を鳴らし、そぞろ歩けるよう木回廊を擁し、棚田風の石畳の広場と一体的に公共トイレを整備。</p> <p>●まちづくりのルールに沿い、余分な看板は一切付けず、子供からお年寄りまでが安心して案内できるよう周辺の状況を勘案してトイレ棟はランドマークとして、指さしだけで分かるよう建物を配置。</p> <p>●館内は閉鎖的な空間ではなく、開放感ももてるよう天井部分を高くし、館内通路についても路地に抜けられるような通路とし、可能な限り開放感あるものにした。</p> <p>●ユニバーサルトイレ、男女別の室内は間接照明により、高級ホテルのトイレのような質感にこだわり施工を行いました。このため、芳香剤などは一切設置せず、小忠実な清掃を行い、維持管理に努めている。</p>	   

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
21	富良野市立布礼別(ふれべつ)小学校	観光トイレ清掃	北海道 富良野市	<p>●活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、5月から10月までの期間、学校近くにある公衆トイレの清掃活動を小学3年生から6年生までの児童・教員で実施。 ・年度の初めには、「観光トイレはじまり集会」を行い、市の担当者から話をいただいたり、めあてを設定したりして、観光トイレ清掃の活動意義を確認し、活動意欲を高めている。また、秋には、「観光トイレふり返り集会」を行い、活動の反省と、次年度への意欲づけをしている。 ・平成25年度に布礼別小中学校(併置校)の中学校が閉校となり、平成26年度からは小学校単置校となったことで、現在は、小学生(3年生以上 8人)で月に2回程度清掃活動を実施。 <p>●ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの中には、布礼別小学校の紹介や利用者からのメッセージを掲示している。道内のみならず全国各地から訪れた観光客の方々から感謝や激励の言葉を書いていた。 ・毎年、このトイレを利用してくれる観光客もいて、富良野市の観光促進の一助になっている。 ・今年度で、清掃活動開始以来28年目となる伝統と歴史のある取組である。 ・夏休みには、卒業生が手伝いに来てくれることもある。また、本校出身の保護者の方もいて、親子2代に渡って清掃に取り組んでいる伝統と歴史のある活動である。 ・毎年、清掃活動終了時には、富良野市から清掃活動に対する感謝状を贈呈されている。また、平成15年には、北海道知事から感謝状が贈呈され、平成19年には、富良野市青少年表彰を受賞した。他にもいくつか受賞歴がある。 	   

望月 環境大臣賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
22	東京都	明治の森高尾国定公園 大見晴園地(おおみはらしえんち) 公衆トイレ	東京八王子市	<p>「トイレで待つのはイヤ！まして、1時間待ちなんてヒドすぎる！クサイ、せまい、暗いトイレなんてイヤ！山の上でも快適に！」</p> <p><構造・間取></p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の利用方法や使用時間の違いに応じて、延床面積比やブース数を考慮(男子3:女子7) 建築可能な平地が少ないことから、山岳便所初の2階建てに 建物の外観は、自然景観になじむよう、山小屋風。 空いたブースがすぐわかるように、ランプを設置。 全ての個室に手すりをつけ、ユニバーサルデザインに。 <p><便器等工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 個室ブースは面積を広くとり、バックパックの着脱や介助、着替え、身づくろい等を行いやすく多目的化した。 遠足に引率する保育士や親子連れの保護者を考慮し、ブース内にベビーシート、ベビーキープ、男児用便器を設置。 悪臭を軽減し、衛生的な環境を確保するため水洗化。 やぶ蚊対策として、電撃殺虫器を採用。 外国人旅行客の増加、高齢者にかかる身体的負担の軽減、家庭用トイレの洋式化に伴う、和式を使えない児童の増加などに鑑み、便器は一つを除き全て洋式。 ウォシュレットを採用することで、紙の大量使用による排水管のつまりを防止、紙を使わず水洗を基本とするイスラム教徒の旅行客に配慮。 	<p>画像</p>    
23	山のトイレを考える会	山岳トイレの環境改善	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道では、登山口が林道の終点で、山小屋も少ないため、トイレは少なく、登山道や野営地周辺での尿尿と紙の散乱、踏み跡の拡大が問題視されてきた。高山植物の劣化、景観の悪化、登山マナーの低下を懸念する登山者、山岳会、ガイド等が「山のトイレを考える会」を結成し、普及啓発活動と関係者のネットワークづくりに取り組んでいる。 ●山岳地におけるトイレの情報を収集し、ホームページと「山のトイレマップ」で、登山前に用を足し、トイレで用を足すことを呼びかけている。 ●山岳トイレ問題とマナーを一般登山者に伝える「全道一斉山のトイレデー」は、実施箇所数と参加者を増やしている。 ●地元山岳会や行政機関とも連携して、汚染や維持管理の問題を抱える場所の清掃、くみ取りにも協力し、官民協働の問題解決を目指している。 	<p>仮設トイレの汲み取り作業</p>  <p>登山者への普及啓発</p>  

山谷 内閣府特命担当大臣(防災)賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設所在地	アピールポイント	画像
24	株式会社 総合サー ビス	災害用トイレの技術 開発	全国	<p>●活動の目的:災害時のトイレ環境と質の向上</p> <p>●ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯トイレは、当初、凝固剤と袋の組合せで商品化したが、凝固剤を開ける際にこぼす可能性、間違って子供が舐めてしまう可能性、清掃局からの収集車内での破裂飛散する可能性などを考慮し、業界初の吸収シート式に変更。そして使用手順を減らし誰もが容易に使えるように吸収シートと袋を一体化させ袋を開くだけで使えるよう改良。 ・トイレブースは、段差が無く3パーツで組立時に工具不要。2人で5分~10分以内で組み立て可能。 ・便器は折り畳んである脚を開いて、固定ネジを締めるだけとなっており細かいネジの紛失が起きず、すばやく設置が可能。 ・商品をなるべく一体化させ付属品を少なくし、一つの部品が紛失すると使えないという事態が起きないような構造を考え、開発。 	<p>携帯トイレ各種</p>  <p>袋自体でおまるとして使用可能</p> <p>アウトドア用(透けにくい濃い緑色)</p> <p>介護用(受けバケツにジャストサイズ)</p> <p>組立トイレ各種</p>  <p>下水道へ</p> <p>マンホール直結型(強固で透けないパネルを使用)</p> <p>ハウスⅣ型(折り畳み式で、一人で組立可能)</p> <p>その他</p>  <p>和式トイレを洋式として使用できる折畳便器</p>
25	株式会社 木村技研	災害用組立トイレの 開発	全国	<p>●活動の目的:設営の容易さ、使い易さ、排泄物の集中管理さらに後始末が合理的に行える災害用トイレの開発</p> <p>●ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量処理能力を備えている。便槽内のし尿は、自己分解して3層に分離。分離は微生物による分解で時間の経過とともに一層促進。 ・トイレに内蔵された固液分離装置の働きで液化分を下水道に放流処理し、約1万人のし尿処理が可能。固液分離装置は特殊な目詰まり防止機構を備え、殺菌剤によって処理された分離水は下水道管への悪影響がなく、じかに放流することが認められている。 ・クラッシャー機構が便槽内に排泄した大便を粉碎して小便等と混濁し、懸濁化を促進。固液分離装置との組み合わせは不可欠。 ・組立は誰でも10分。各パイプフレームはスプリングワイヤーで連結され、誰にでも簡単に10分程度で組立てられる。 	 <p>目詰まり防止装置</p> <p>殺菌剤(汚水処理剤)</p> <p>クラッシャーによって山が崩され、懸濁化</p> <p>固液分離装置により液化分のみ殺菌処理され排水管へ排出</p>

石破 内閣府特命担当大臣賞

	受賞者名	施設又は活動の名称	施設又は活動の地域	アピールポイント	画像
26	群馬県	ぐんまビジタートイレ認証制度	群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ●いかに優れた観光地であっても、トイレの印象が悪いと観光地全体の印象が悪くなってしまうこともあることから、トイレの印象を大切なおもてなしの1つとして捉え、平成15年からぐんまビジタートイレ認証制度をスタートさせた。 ●制度の目的は、観光地のイメージアップを図るとともに、地域住民も含めた、誰もが清潔で安全、安心、快適に利用できるトイレの維持管理を図るものである。 ●上記の要件を満たすトイレをぐんまビジタートイレとして認証するが、認証して終わりではなく、2年ごとの更新、定期的な現地調査及びトイレ管理者への清掃等に関する助言・指導を行っており、トイレの高いレベルを維持できるような仕組みとしている。 	  
27	高知県	おもてなしトイレ認定事業	高知県	<ul style="list-style-type: none"> ●おもてなしトイレは、平成26年度末時点で県内694件の認定がされている。 ●おもてなしトイレの認定制度は、清潔なおもてなしの心が感じられるトイレで観光客を迎え、観光客の興味を引くなかで満足度向上につながるのと、施設側や県民の皆様のおもてなし意識の向上にもつながる取組である。 ●平成26年度からは、特に優れた取組等を実施している管理者5カ所を表彰し、さらなる取組への後押しをするとともに、マスコミ等を通じて情報発信することで、県民全体のおもてなし意識の向上につなげている。 	  
28	おおいたトイレナーレ実行委員会 大分市	おおいたトイレナーレ	大分市	<ul style="list-style-type: none"> ●「おおいたトイレナーレ」は、平成27年の夏に大分市中心部のトイレを舞台に開催する芸術祭。 ●「トイレナーレ」とは、トイレとトリエンナーレによる造語。一見かけ離れてみるトイレと芸術、どちらも私たちが人間らしく生きていくために欠かせない、誰にでも関係があるもの。また、現代アートはトイレから始まったとも言われている。世界中で芸術祭が行われていますが、「トイレナーレ」はこれまでどこにもなかった名称で、海外からも注目されている。 ●このトイレナーレの開催に向けて、大分市では行政と教育や経済、文化の団体、商店街やまちづくりに関わる住民とで実行委員会を組織した。そして、店舗や公園のトイレをアート空間に変身させた。 ●また、シンポジウムやワークショップ、トイレの清掃パフォーマンスなどを行い、トイレをきっかけに、アートの力を活用して、持続可能なまちづくりにむけた活動を進めている。 	    